資料のデジタル化・保管・流通・活用等の実践紹介

アーカイブ Data Report　NO. 89

（2021 年 3 月 19 日）

〒500-8813　岐阜県岐阜市明徳町 10 番地　杉山ビル 5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com　URL:https://npo-nak.com
NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会
（＊岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校）

米国公文書館日本関連資料画像のカラー化の試み

～「記憶の解凍」プロジェクトの成果を参考に～

熊﨑　康文（岐阜女子大学）

１．米国公文書館日本関連資料について

岐阜女子大学には米国公文書館日本関連資料が保管されている。この資料は菊川健先生が米国公文書館で、科研費で日本関連資料を収集した終戦直後の日本の様子がわかる貴重なものである。

この資料について，菊池は「米国公文書館の戦後日本関係の資料から教育リソースの作成」（アーカイブ Data Report No.75，2021.2）及び「米国公文書館資料の新学習指導要領に対応した社会科教材としての再構成」（岐阜女子大学　文化情報研究，2017，Vol.19 No.1 1-43）で学校での教材活用を報告している。

同資料は太平洋地域での戦闘，沖縄戦，本土空襲，原爆投下，終戦処理，米軍の統治，戦後の復興，講和条約，日本人の生活民具などで構成されている。その中の画像資料はほぼ白黒であるが，最近，白黒写真のカラー化技術が進みだしているので，その可能性について報告する。

２．「記憶の解凍」プロジェクトについて

渡邉らは，白黒写真を AI 技術でカラー化し，ソーシャルメディア／実空間に“フロー”を生成する活動を報告している。（「記憶の解凍」：カラー化写真をもとにした“フロー”の生成と記憶の継承，デジタルアーカイブ学会誌，2019 年 3 巻 3 号 p.317-323）「被写体が備えていたはずの色彩を可視化することによって、白黒写真の凍りついた印象が解かされ 、鑑賞者は、写し込まれている

図１　ImageColorizer（https://imagecolorizer.com/ja/colorize.html）でカラー化した「国会・選挙風景（婦人参政権・投票する婦人・はじめての投票）」

できごとをイメージしやすくなる。」ことから，情報の価値を高めることにつながるとして，その活動の成果を紹介している。

この活動を参考に，米国公文書館日本関連資料の画像のカラー化を進めることは，菊池が再構成した学校での活用の際に，児童・生徒は当時の社会的事象を，昔のこととして見る距離を現在目にする日常に近づけ，画像との対話的な学びを促進することになると考える。また，地域の古老にカラー化した当時の画像を見せることで，当時の記憶がよみがえり、多くを語っていただくことも可能となるのではないだろうか。

図２　同「戦後の復興（天皇巡幸・戦争被災家族を労う）」

図３　同「戦後の復興（農地改革の掲示を見る農民：埼玉）」

図４　同「戦後の復興・カソリック学校・双葉学園・学校菜園・芋端の手入れ」